

歯周医学

～歯周病と全身疾患の関連性、
歯周治療の意義を再認識する～

研修単位申請中！

- ▶日本歯科衛生士会第5次生涯研修
A 臨床研修コース
a 歯周治療の基本技術（2単位）
- ▶日本歯周病学会認定歯科衛生士制度
生涯研修単位（5単位）

【開催日時】

2026年3月22日（日）
13:30～15:30



明倫短期大学 歯科衛生士学科
教授 小松 康高 先生
(ご経歴と抄録は裏面をご覧ください)

会場

新潟県歯科医師会館
(新潟市中央区堀之内南3丁目8-13)

開催方法

ハイブリッド形式

参加費

会員 無料
非会員 5,000円

3月17日までに現金書留で納入
してください。一旦納入いただ
いた受講料は返金いたしかねま
すので、ご了承ください。

申込方法

- ・日本歯科衛生士会第5次生涯研修単位および日本歯周病学会認定歯科衛生士
制度生涯研修単位の申請を希望する方は、事前申し込みが必要です。
別紙【Web研修会における生涯研修の単位申請について】をご参照ください。
- ・研修単位が必要ない方は、申し込み手続きは不要です。

申込期間

2026年3月17日まで受付

問い合わせ

(一社)新潟県歯科衛生士会 事務局
〒950-2086 新潟市西区真砂3-16-10 明倫短期大学内
TEL: 025-232-6351 (平日9:00～17:00) MAIL: dh-manabi@s.meirin-c.ac.jp



『歯周医学～歯周病と全身疾患の関連性，歯周治療の意義を再認識する～』

こまつ やすたか

講師：明倫短期大学歯科衛生士学科 教授 小松 康高 先生

少子高齢社会において健康寿命の延伸の必要性が提唱されて久しい。その中で昨今，歯科疾患，特に歯周病管理の重要性が注目されている。歯周病は口腔内細菌による慢性炎症性疾患であり歯肉の炎症と歯槽骨吸収を特徴とする。2024年歯科疾患実態調査によると，高齢者における残存歯数の増加が顕著（8020達成者61.5%）となっている一方で，増加した残存歯の高い歯周病罹患率も報告されている。また，歯周病は糖尿病や動脈硬化性疾患，骨粗鬆症，認知症など様々な全身との関係性があることが知られている。これは歯周病による「軽微な潜在的慢性炎症」の影響によるもので，具体的には歯周炎局所における①炎症性サイトカイン②細菌（菌血症）が全身へ波及するためと考えられている。「菌血症」とは，本来無菌の末梢血中に何らかの原因で細菌が存在することであり，歯周治療におけるスケーリングやSRP時，さらに重度歯周炎患者では日常動作である咀嚼や歯磨き時においても一過性の菌血症が報告されている。我々はこれまでEr: YAG（エルビウムヤグ）レーザーの殺菌効果に注目し，SRP時の菌血症抑制について研究し有用な知見を得たので紹介したい。

2017年，政府の骨太の方針の中で初めて歯科項目が明記され，2022年には国民皆歯科健診導入の必要性が提示，2026年新年冒頭には政府より「健康寿命の延伸と社会保障制度の担い手の確保」のため「攻めの予防医療」計画が発表され，その中で歯周病予防の強化が再度掲げられた。歯周治療は単なる口腔機能の改善に留まらず，持続的な歯周局所での細菌感染巣のコントロールを介して全身の健康維持と向上，ひいては健康寿命の延伸に寄与する可能性が高く，とても意義深いと考えられる。そしてその担い手の中心はまごうことなく歯科衛生士の皆さま方である。

2024年の日本人死因（厚生労働省）は順に①悪性新生物（がん）：24.3% ②心疾患：14.7%③老衰：12.1% ④脳血管疾患：6.6% である。また，2022年国民生活基礎調査（厚生労働省）によると要介護の主な原因疾患は，順に①認知症 ②脳血管障害 ③骨折・転倒 である。今回これらを踏まえ，歯周病に関連する全身疾患の中で特に高齢者における有病者数が多い1. 糖尿病 2. 動脈硬化性疾患（脳血管障害） 3. 骨粗鬆症 を中心に『歯周病と全身の健康2025（日本歯周病学会編，医歯薬出版）』を基にその分子メカニズムや日常臨床で遭遇するであろう疑問点について概説する。また，演者がこれまで歯科衛生士と共同で治療に携わったこれら全身疾患を有する患者の臨床症例についてもいくつか供覧したい。

最後に，歯周病と関係のある全身疾患の多くは「生活習慣病」である。歯科医療者側の治療介入のみではなく患者教育も同等に重要であると演者は歯周治療を通じて痛感している。患者自身が自身の健康観を良い方向に変え，行動変容へと繋げ，国民一人一人の健康長寿にむけた意識向上と自律のベースの上に，生涯にわたる患者を支援する寄り添う医療があってこそ初めて健康寿命の延伸が達成できるのではないかと思う。

講師略歴

2001年	新潟大学歯学部 卒業	【所属学会】 ・日本歯周病学会（専門医，指導医） ・日本歯科保存学会 ・日本レーザー歯学会 ・日本歯科衛生学会（日本歯科衛生士会 第二会員）
2005年	新潟大学大学院医歯学総合研究科 博士課程 修了（歯学博士）	
2009年	新潟大学医歯学総合病院歯周病科 助教	
2012年	スイス連邦ベルン大学 歯学部歯周病科 留学	
2017年	新潟大学医歯学総合病院歯周病科 病院講師	
2024年	明倫短期大学歯科衛生士学科 教授 現在に至る	